

〔愚管記〕應安四年閏三月六日己未、太上天皇尊號并兵仗頓給料米事被宣下、上卿洞院大納言云々、

廿七日庚辰、略中尊號光後詔書覆奏、胤又見續神皇正統記、皇

〔皇年代略記〕後圓融、永徳二年壬戌四月廿五日、太上天皇尊號、統記又見續神皇正統記、

〔續神皇正統記〕後圓融、天下を治給ふ事安泰にして、尊號例の如し、院中にても暫御政務あり、

〔常永入道記〕應永十九年九月五日丁亥、太上天皇尊號、小松後并御隨身等宣下之、奉行清長朝臣、公卿

洞院大納言、實信卿以上又見皇紀、年代略記、歷代皇紀、廿一日癸卯、尊號詔書覆奏、奉行清長朝臣、上卿洞院大納言、

〔續神皇正統記〕後小松、天下を治給ふ事三十餘年、尊號例の如し、略中御讓位以後も、なほ院中にし

て御政務とぞ、

〔椿葉記〕應永十九年八月廿九日、一の宮光稱に御くらむゆづり申さる、小松後御治世はもとのこと

くにて、よろづめでたく渡らせ給ふ、

〔皇胤紹運録〕後花園院、略中寛正五、七、九、禪位尊號、代皇紀又見歷

〔公卿補任〕後土御門、文明二年十二月廿七日、太上天法皇、花園崩御、

〔皇年代略記〕正親町、天正十四年十一月七日、禪位、同月太上天皇尊號、

〔皇年代略記〕後陽成、慶長十六年四月七日、太上天皇尊號、

〔執次詰所記〕後水尾、寛永六年十一月八日、讓位、四三同日、太上天皇尊號宣下、胤又見續神皇

〔執次詰所記〕明正、寛永二十年十月十二日、尊號太上天皇、號新院、胤又見續神皇

〔公卿補任〕明正、寛永廿癸未年十月十二日、尊號定宣下、陣儀上卿廣橋大納言兼賢卿、奉行職事頭右

大辨綏光朝臣、

〔忠利宿禰記〕寛永廿年十月十二日、今日興子新院、明太上天皇尊號宣下也、上卿兼賢卿先著陣有、

次太上天皇宣下之詔書也、封之義仰詞有、于宣旨不書、大外記年爵同前也、大内記爲庸、中務大輔泰